

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和4年3月4日

事業所名 たんぽぽ・城東

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		ゆっくり過ごしていただけるようにスペースを確保しています。活発に活動ができる児童と介助が必要な児童を適宜部屋割りをしています。	
	2 職員の配置数は適切である	○		基準に適した人数を配置しており、児童指導員を配置しています。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		施設にはスロープ、入り口もバリアフリー化しております。玄関ドアは自動ロックを採用しています。トイレ等の表示をわかりやすく大きくしています	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		定期的な掃除に加えて、汚れた際はその時点で掃除し清潔を心がけています。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		毎日の申し送りにおいて職員全体で検討し、実践、振り返り、評価を行っています。定期的に話し合いをしています。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		評価表を活用して保護者等のご意向等を把握し、サービスの質と職員の質の向上を図っています。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページにて公開しています。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	第三者による外部評価を行っていませんが、他事業所からのアドバイスなどは積極的に取り入れ、業務改善を行っています。	なるべく早い時期に第三者による評価を実施します。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		定期的に職員研修を行っており。外部研修も積極的に参加しています。	
	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		本人・保護者のニーズを聞き取り、また日々の様子を観察し、児童発達支援計画検討会議を行い計画書を作成しています。	
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		法人内で統一したアセスメントツールを活用して1人1人の課題、年齢・性別、特性に合わせて個別課題や、集団活動への取り組みを行っています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		児童発達支援計画検討会議で、児童発達支援管理責任者を中心としてガイドラインに示してある項目を確認しながら、支援内容を設定しています。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		個別支援計画書に基づいて、職員の共通理解を図り支援を行っています。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		月間予定を児童発達支援管理責任者を中心に立案し、職員全体で確認や予定の詳細の決定を行っております。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		プログラムを曜日固定ではなく、毎日ランダムに組み合わせて同じプログラムが行われないように工夫しています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成している	○		保護者や相談支援専門員の意見に加えて子どもたちの声や仕草をよく観察し見合った支援を計画書に反映しています。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎日、振り返りと申し送り、送迎時間の確認、プログラムの内容とプログラムの役割を確認しております。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		支援について皆で意見を交換し勤務者間で共有し統一した支援が出来る様にしている。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		当日の支援内容や気になる事項に関しては毎日記録をし、翌日の申し送り時に職員間の共有を行い、支援の検証や改善を行っています。	
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		6か月に一度職員間でカンファレンスを行い、評価・見直し等を行っています。		
関係機関や保護者	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		会議には児童発達支援管理責任者が参加し、情報・意見交換を行っております。終了後、会議内容を全職員に報告しています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		地区におけるネットワーク会議や支援学校の会議等に参加させていただき連携を図っています。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		医療的ケアを実施する場合の、主治医の指示書等は支援学校等と連携して指示書の切れる前に主治医からいただいています。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		主治医や協力医療機関等とは、医療連携に関する契約書を交わし、主治医の指示書の下で実施しています。実施後は実施状況報告書を主治医に提出して連携体制を整えています。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
との連携関係機関や保護者との連携	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		児童発達支援管理責任者を中心に保育所等に訪問させていただき、情報交換等を行い情報共有をさせていただいています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		児童発達支援管理責任者を中心に小学校等に訪問させていただき、情報交換等を行い情報共有をさせていただいています。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		児童発達支援センター等に連絡をとり、助言を受けており研修も参加を心がけています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○	コロナの影響もあり、地域住民の方を対象としたイベントの実施はできませんでした。	今後は様々な交流や活動ができる事業運営を考えていきます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		時間があれば可能な限り参加をしています。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時に口頭や連絡帳にてお子さんの様子をお伝えしています。また、保護者から家庭での様子や気になっている点等を伺っています。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		専門的なペアレント・トレーニングに詳しい講師の方を事業所にきていただき、保護者とともに研修をさせていただきました。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		見学時に支援内容等の説明をしています。また契約時には、重要事項・契約書の説明を行っています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		児童発達支援ガイドラインに基づき、児童発達支援管理責任者が中心に作成した「児童発達支援計画」の支援内容の説明を行い保護者から児童発達支援計画の同意を得ています。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		送迎時に保護者から家庭での様子や気になっている点等を伺っています。また、必要に応じて面談や相談を随時行っています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		現在、定期的な会報等	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		契約時に、相談・苦情窓口、担当者を設置していることをお伝えしています。また、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		現在、2か月に1回ですが、会報を発行して活動概要等を発信しています。	
38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		個人情報の書類に関しては、鍵付きの保管庫で管理しております。また、職員に対する個人情報の取扱いについては雇用契約締結時等で指導しています。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		研修等で知識を深め、個々に合ったコミュニケーション方法を検討し、実施しています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	コロナの影響もあり、地域住民の方を対象としたイベントの実施はできませんでした。	今後は地域住民も招待できる事業運営を考えていきます。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		緊急時・防犯・感染症対策の各マニュアルを作成しています。保護者への周知に関しては今後行ってまいります。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		防火管理者を配置しています。避難訓練実施マニュアルを作成し年2回の避難訓練を実施しています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		契約時に疾病や服薬状況を確認しています。また、緊急連絡先やその後の対応についても保護者と確認しています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		契約時にアレルギーの有無を確認し、医師からの指示書がある場合は職員に情報を共有し、おやつ等は保護者に直接確認し、個別に保管しています。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハット事例の報告を行い、防止策の検討を行っております。参加していない職員は報告書で情報共有しています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		会社全体で虐待に関する研修を行っており、参加出来ない職員は報告書や資料等で情報共有しております。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		現在、身体拘束は行っていません。今後、やむを得ず身体拘束を行う場合は組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載します。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。